



各 位

会 社 名 株 式 会 社 シ ー マ
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 白 石 幸 栄
 (J A S D A Q ・ コード 7 6 3 8)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 総 務 部 長 松 橋 英 一
 電 話 0 3 - 3 5 6 7 - 8 0 9 8

平成 23 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 5 月 10 日付当社「平成 22 年 3 月期 決算短信」にて公表しました平成 23 年 3 月期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の業績予想（連結・個別）を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

なお、平成 22 年 6 月 24 日に公表の「(修正・数値データ修正あり) 特別損失の計上および、それに伴う「平成 22 年 3 月期 決算短信」の一部修正について」において、平成 23 年 3 月期 連結業績予想の前期比を一部修正しています。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 23 年 3 月期 連結業績予想の修正等

第 2 四半期連結累計期間（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

(単位：百万円、円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	5,654	156	143	74	0.40
今回修正予想 (B)	5,691	314	314	135	0.74
増減額 (B - A)	37	158	171	61	—
増減率 (%)	0.7	101.0	119.8	82.5	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	5,660	▲22	▲33	▲90	▲0.49

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

(2) 平成 23 年 3 月期 個別業績予想の修正等

第 2 四半期累計期間（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

(単位：百万円、円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	5,654	156	142	74	0.40
今回修正予想 (B)	5,691	316	315	137	0.75
増減額 (B - A)	37	160	172	62	—
増減率 (%)	0.7	102.6	121.2	84.9	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	5,519	▲14	▲25	▲80	▲0.44

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

2. 業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）におけるわが国経済は、アジアを中心とした世界経済の改善や各種政策効果などを背景に、企業収益は改善してきているものの、このところ環境の厳しさが増してきており、雇用情勢においても失業率が高水準となるなど、依然として厳しい状況が続きました。

また、景気の先行きについては、海外景気の下振れ懸念や、円高やデフレーションの進行など、景気を下押しするリスクが未だ存在するなど、先行き不透明な状況が続いています。

このような経済状況のもと、当社グループの主力であるブライダルジュエリー事業（銀座ダイヤモンドシライシ、エクセルコダイヤモンド、ホワイトベルの3ブランド等）は、平成22年3月期には景気悪化による個人消費の低迷などにより、業績に大きく影響する結果となりました。

しかしながら、当社はこの厳しい状況下に早期に対応し、組織改革などによる営業の強化、経費削減を前期に引き続き全社で取り組みました。その効果が当期に発現し、売上は前年同四半期を上回り、特に営業利益、経常利益においては、期初計画に対し大幅に高い実績を達成することができました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益が、平成22年5月10日付で公表した平成23年3月期の業績予想（連結・個別）を大幅に上回る結果となったため、修正するものです。

なお、前述のとおり、国内の景気は先行き不透明な状況が続いていることや、当社グループの主な事業環境であるブライダルジュエリー市場においては、企業間競争の激化が今後も予想されることなどから、平成23年3月期 通期の業績予想（連結・個別）を修正しないこととしました。

業績予想の修正に至る＜売上高＞と＜営業利益、経常利益および四半期純利益＞での主な要因は、以下のとおりです。

＜売上高＞

当社の主力であるブライダルジュエリー販売において、当社は、平成21年9月に組織改革を実施し営業体制を強化しました。これにより、既存提携先へのサービスを強化するなど、深耕を推進することができました。また、独自のノウハウをもとに推進している全国各地での集客活動が軌道に乗り始めていることなどから、当第2四半期連結累計期間の売上は、連結・個別ともに期初計画に対し、0.7%増とほぼ計画どおりに推移しました。

四半期別の連結売上高は、第1四半期が25億90百万円（前年同四半期比1.9%減）、第2四半期が31億1百万円（同2.7%増）、また個別売上高は、第1四半期が25億90百万円（前年同四半期比0.7%増）、第2四半期が31億1百万円（同5.3%増）となりました。

＜営業利益、経常利益および四半期純利益＞

当第2四半期連結累計期間において、当社は通常のジュエリー販売に加え、付加価値サービスなどにより、売上は期初計画どおりに推移しました。

また、経費面においては、全社的な経費削減の取り組みの効果もあり、販売費及び一般管理費を全体的に抑えることができたため、営業利益、経常利益、ならびに四半期純利益ともに、計画を大幅に上回る結果となりました。

連結営業利益3億14百万円（計画比101.0%増）、個別営業利益3億16百万円（計画比102.6%増）、連結経常利益3億14百万円（計画比119.8%増）、個別経常利益3億15百万円（計画比121.2%増）

となりました。

以上により、連結四半期純利益は1億35百万円（計画比82.5%増）、個別四半期純利益は1億37百万円（計画比84.9%増）となり、純利益においても予想を大幅に上回りました。

なお、平成23年3月期の配当予想につきましては、平成22年5月10日に公表した「平成22年3月期 決算短信」の内容からの変更はございません。

（注）平成23年3月期 第2四半期決算短信は、平成22年11月10日（水）に発表する予定です。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものです。
実際の業績は、今後さまざまな要因によって、予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上